## 再処理施設

施設名		低レベル固体廃棄物 (本 )				合計
加 改 石		ドラム缶	アスファルト 固化体	プ <sup>゚</sup> ラスチック 固化体	その他の種類 (本相当)	(本相当)
日本原子力研究開発機構	前年度末の保管量	31,162	29,967	1,760	11,165	74,054
東海研究開発センター	当該年度の発生量	340	0	16	296	652
核燃料サイクル工学研究所	当該年度の減少量	0	0	0	0	0
(再処理施設)	年度末の保管量	31,502	29,967	1,776	11,461	74,706
	前年度末の保管量	1,796	-	-	6,392	8,188
日本原燃(株)	当該年度の発生量	1,092	-	-	713	1,805
再処理事業所	当該年度の減少量	0	-	-	0	0
(再処理施設)	年度末の保管量	2,888	-	-	7,105	9,993

(続き)

施設名		貯蔵設備 容量 (本相当)
日本原子力研究開発機構	前年度末の保管量	
東海研究開発センター	当該年度の発生量	
核燃料サイクル工学研究所	当該年度の減少量	92,140
(再処理施設)	年度末の保管量	
	前年度末の保管量	
日本原燃(株)	当該年度の発生量	*1
再処理事業所	当該年度の減少量	66,350
(再処理施設)	年度末の保管量	

施設名		高放射性固体廃棄物 (本相当)			合計	貯蔵設備 容量
		せん断 被覆片等	使用済 フィルタ等	試料ビン等	(本相当)	(本相当)
日本原子力研究開発機構						
東海研究開発センター	当該年度の発生量	138	4	36	178	
核燃料サイクル工学研究所	当該年度の減少量	0	0	0	0	10,320
(再処理施設)	年度末の保管量	4,671	297	1,291	6,259	
日本原燃(株)	当該年度の発生量	-	-	-	-	-
再処理事業所	当該年度の減少量	-	-	-	-	-
(再処理施設)	年度末の保管量	-	_	-	-	-

施設名		*2 ガラス	低レベル液体廃棄物 (m³)			高レベル 液体廃棄物
אם שוו		固化体 (本)	低放射性 濃縮廃液	スラッジ	廃溶媒	(m <sup>3</sup> )
日本原子力研究開発機構						
東海研究開発センター	当該年度の発生量	49	*3 223	2	*4 22	48
核燃料サイクル工学研究所	当該年度の減少量	0	0	0	21	49
(再処理施設)	年度末の保管量	218	2,443	1,112	104	411
日本原燃(株)	当該年度の発生量	1	-	ı	-	-
再処理事業所	当該年度の減少量	-	_	-	-	-
(再処理施設)	年度末の保管量	-	-	-	-	-

- \*1 貯蔵設備容量には、廃樹脂貯槽(約190m³/基×3基)分の2,850本相当分を含む。
- \*2 120以容器。
  \*3 廃液貯槽の廃液、ライン洗浄水等を含む。
  \*4 水相を含む。

## 廃棄物埋設施設、廃棄物管理施設

施設名		低レベル固体廃棄物 (本)			合計	貯蔵設備 容量
加		ドラム缶	アスファルト 固化体	その他の種類 (本相当)	(本相当)	(本相当)
	前年度末の保管量	0	-	0	0	
日本原燃(株)	当該年度の発生量	0	-	0	0	
濃縮・埋設事業所	当該年度の減少量	0	ı	0	0	80
(廃棄物埋設施設)	年度末の保管量	0	-	0	0	
	前年度末の保管量	524	-	28	552	
日本原燃(株)	当該年度の発生量	68	-	0	68	
再処理事業所	当該年度の減少量	0	-	0	0	1,200
(廃棄物管理施設)	年度末の保管量	592	-	28	620	
	前年度末の保管量	-	-	-	-	
日本原子力研究開発機構	当該年度の発生量	-	-	-	-	
(廃棄物埋設施設)	当該年度の減少量	-	-	-	-	-
*1	年度末の保管量	-	-	-	-	
	前年度末の保管量	(445)		(40)	(485)	
		15,525	513	10,859	26,897	
日本原子力研究開発機構	当該年度の発生量	(20)		(0)	(20)	
(廃棄物管理施設)	コ似サ反い九土里	172	6	139	317	
	当該年度の減少量	0	0	0	0	
	年度末の保管量	(465)		(40)	(505)	42,795
*2	十反小の休日里	15,697	519	10,998	27,214	

施 設 名		低レベル 液体廃棄物 (m³)
日本原燃(株)	当該年度の発生量	-
濃縮・埋設事業所	当該年度の減少量	-
(廃棄物埋設施設)	年度末の保管量	-
日本原燃(株)	当該年度の発生量	0
再処理事業所	当該年度の減少量	0
(廃棄物管理施設)	年度末の保管量	0
日本原子力研究開発機構	当該年度の発生量	-
(廃棄物埋設施設)	当該年度の減少量	-
*1	年度末の保管量	-
日本原子力研究開発機構	当該年度の発生量	-
(廃棄物管理施設)	当該年度の減少量	-
	年度末の保管量	_

<sup>\*1</sup> 放射性固体廃棄物及び放射性液体廃棄物の貯蔵設備はない。

JPDRの解体に伴う固体廃棄物約1,670トンが埋設されている。
\*2 ( )内の数値は当該施設からの発生量で下段の数値の内数。下段の数値は管理施設での管理量合計を示す。
貯蔵設備容量は、加工施設・廃棄物埋設施設用を含む。